

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プライトタウン浜北駅前 新築工事	階数	地上14F
建設地	静岡県浜松市浜名区貴布祢字川田	構造	RC造
用途地域	商業地域、第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	207 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年3月15日
敷地面積	4,146 m <sup>2</sup>	作成者	URP都市総合計画(株)
建築面積	598 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,055 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。 節水機器、高効率機器等の採用や外皮性能に配慮することによりエネルギー使用量の削減に努めました。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 断熱性能等級4とし、外皮性能に配慮しています。また、内装材については、すべてF☆☆☆☆を採用し、室内空気環境にも配慮しています。さらに南側に大きな窓を設けることで、十分な星光を得られる計画としました。	<b>Q2 サービス性能</b> 躯体は耐震等級2、劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用することで建築物の長寿命化に配慮しています。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 防犯カメラの設置、共用部は夜間照明する等防犯性に配慮した計画としました。
<b>LR1 エネルギー</b> 建築外皮性能を高めかつ、高効率な機器を採用することによりエネルギーの削減を図りました。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器、節湯器具を採用しています。また居住者の安全健康に配慮し、化学法対象物質を含有しない材料を一部使用する計画としました。	<b>LR3 敷地外環境</b> 周辺の住環境に配慮して、周辺道路に路上駐車や渋滞を発生させないように、個数以上の駐車台数を確保しました。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	ブライタウン浜北駅前 新築工事	BEE	1.8	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6	/5		ふつつ		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.3	/5		ふつつ		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.1	/5		ふつつ		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上	
				がんばろう 3 点未満		

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		得点	3.6
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>①住戸断熱等級6としている</p> <p>②庇+カーテンにより直射日光を制御している</p> <p>④劣化対策等級3としている</p> <p>④過剰な設備設置をひかえ、躯体、仕上、配管の更新必要間隔が長い材料を採用している</p>	Q-1 2 2.1 2.2	① 外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.13	② 昼光利用設備	
	3.2 3.2.1	③ 昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)		Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出
		3 3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)		LR-1 1	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制
⑦住戸断熱等級6としている		2	⑧ 自然エネルギー利用
⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入している		3	⑨ 設備システムの高効率化
		4 4.1	⑩ モニタリング
		4.2	⑩ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)		LR-2 1 1.1	⑪ 節水
⑪節水トイレ、節湯水栓を採用している		1.2 1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無
⑫内装材と設備が継続していない		1.2.2	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無
⑬有害物質を含まない材料の使用に努めるなどして環境への悪影響の低減を図っている		2 2.1	⑫ 材料使用量の削減
		2.2	⑫ 既存建築躯体等の継続使用
		2.3	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用
		2.4	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
		2.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材
		2.6	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み
		3 3.1	⑬ 有害物質を含まない材料の使用
		3.2 3.2.1	⑬ 消火剤
		3.2.2	⑬ 断熱材
		3.2.3	⑬ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)		LR-3 1	⑭ 地球温暖化への配慮
⑭LCCCO2計算シートによる		2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善
⑮近くの気象台を用いて風向風速卓越風などの風環境を把握し、計画に配慮した			
<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		得点	3.3
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>⑯躯体は耐震等級2、劣化対策等級3相当としている</p> <p>⑰主要な配管は更新必要間隔が長い材を選択している</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1	⑯ 耐震性	
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
		2.4 2.4.1	⑰ 空調・換気設備
		2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備
		2.4.3	⑰ 電気設備
		2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法
		2.4.5	⑰ 通信・情報設備
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		得点	3.1
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑳階高2.910m以上としている</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1	⑲ 階高のゆとり	
		3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)		Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
㉑防犯カメラの設置、共用部は夜間照明する等防犯性に配慮した計画としている			
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		得点	2.5
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>⑤外部仕上等は、周辺の街並みや風景にバランスよく調和させている。</p>	Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出	
	2	㉒ まちなみ景観への配慮	
	3 3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上	
■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)		LR-2 2 2.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材
⑮近くの気象台を用いて風向風速卓越風などの風環境を把握し、計画に配慮した。		LR-3 2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善